

# 地域課題解決に若い力

## 愛南町と松山大 連携協定



松山大と愛南町の  
協定書に調印する  
新井学長(手前)と  
清水町長

についてなど具体的な項目を定めており、町と大学が緊密に協力することになっている。

両者によると、大学と自治体の協定では、大学の知的財産や教職員的人的資源に期待することが多いが、今回は学生の活動への期待が高いという。

新型コロナウイルス

感染拡大で打撃を受けた町内養殖マダイの消費を回復しようとする会員制交流サイト(SNS)などで積極的に情報発信してきた松山大学生有志の取り組みが発展し、協定締結に至った。

締結式が町役場であり、新井英夫学長は「愛南町の地域創生に努めていきたい」とあいさつ。清水雅文町長は「学生の柔軟な発想や情報発信力に期待している」と話した。

(秀野太俊)

産業振興や人口減少など地域課題に協力し、き家・過疎対策の他、ゼミやスポーツ合宿

と松山大は2日、連携協定に調印した。特産物の高付加価値化